

兵庫県立伊川谷高等学校 ボランティア部

高校生ボランティア・アワード2021

活動テーマ

地域と連携しながら、人形劇などを通して子どもたちとフードロス問題を考える

活動概要

私たちはSDGsターゲット12「つくる責任 つかう責任」を主題としたオリジナルの人形劇やゲームを考えました。演出は演劇団体「和の木」代表の檜脇さんに協力して頂きました。そして2015年から交流を続けている神戸市立長坂学童保育コーナーのクリスマス会で、昨年12月に初上演しました。またNPO法人「まちづくりスポット神戸」や独立行政法人「JICA関西」と協働しながら、地域の子どもたちに公開するためのイベントも企画しました。さらに「兵庫県立人と自然の博物館」、「神戸市立愛垂児童館・高丸学童保育コーナー」などと協力しながら作品を公開し、子どもたちにフードロス問題を伝えました。



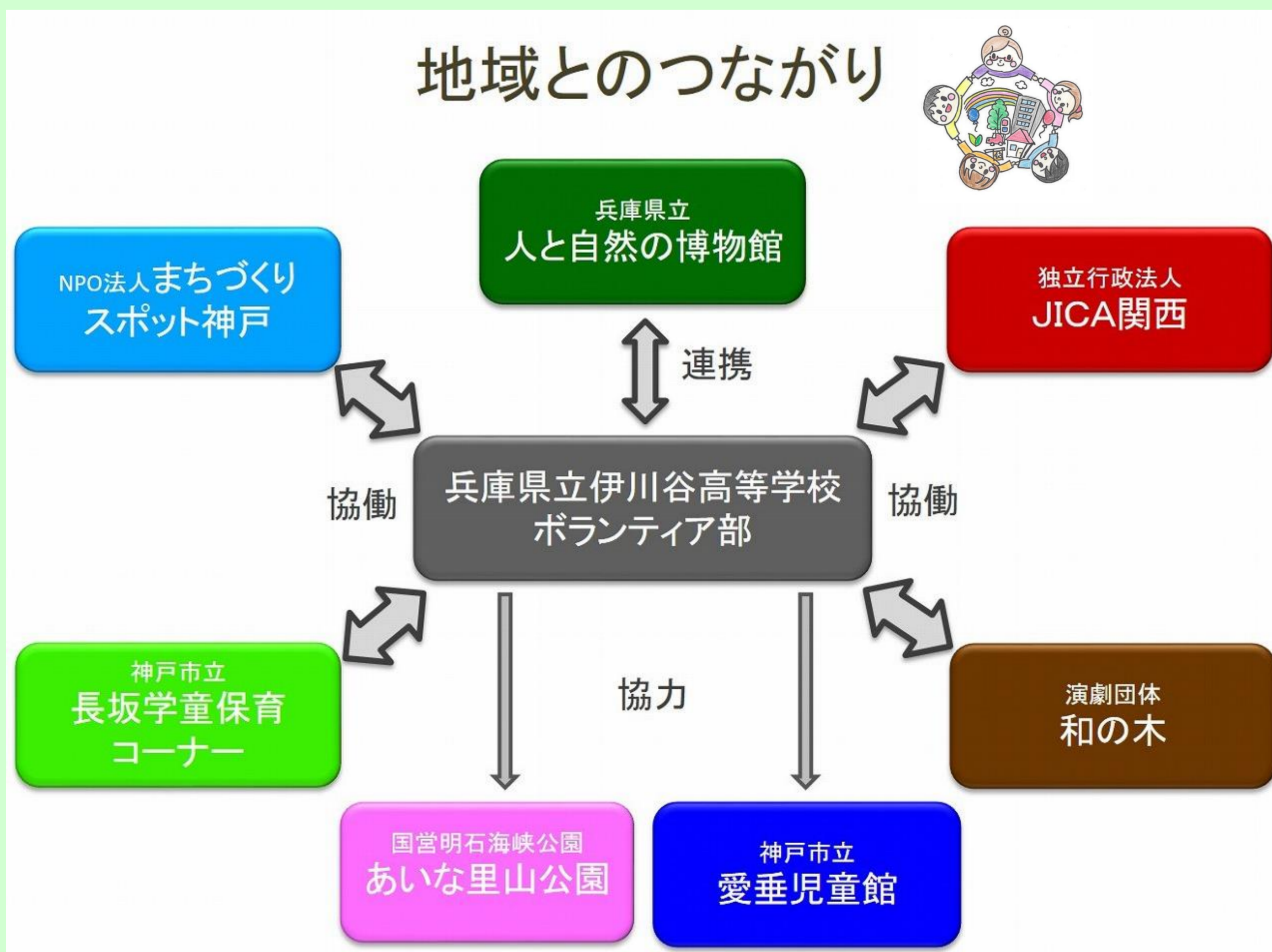
活動の目的・志など

ボランティア部では地域の老人ホーム、学童保育所、自治会などに協力しながら活動を行ってきました。しかし新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、訪問ボランティアの活動が制限されました。そのような状況の中で唯一交流活動が続けることができたのが市立長坂学童保育コーナーでした。昨年度は感染防止対策を徹底して学童保育の子ども達と交流、イベントの補助を行いました。その子供たちに、楽しんでもらいながら何か新たなコンテンツが企画できないか模索したところ、人形劇に挑戦することになりました。話し合いの結果、昨今話題になっているSDGsのターゲット12「つくる責任 つかう責任」をテーマに作品を考えました。子どもたちと食の大切さや循環型社会の在り方を考え、SDGsの啓発につなげることが活動の目的です。



JICA関西主催でリモート配信
6月12日にズームを利用して、
全国の子どもたちに人形劇を
配信しました。

活動の詳細(実施内容/成果・実績など)



- 平素は部活動として放課後に活動
- 令和2年12月22日
神戸市立長坂学童保育コーナーで公演
- 令和3年3月25日
神戸市愛垂児童館／高丸学童保育コーナーで公演
- 令和3年3月25日
兵庫県立人と自然の博物館で公演
- 令和3年4月18日
ランチ神戸学園都市での公演→中止
- 令和3年5月2日
国営あいな里山公園での公演→中止
- 令和3年5月4日
アースデイ神戸2020+1での公演→中止
- 令和3年6月12日
JICA関西主催「人形劇とゲームで学ぼう～初めてのSDGs～」リモートで実施・配信

地域の多くの団体と協働しながらボランティア公演を実施しました。しかし緊急事態宣言発令で「ランチ神戸学園都市」、「国営あいな里山公園」、「JICA関西」と協働で準備を進めていたアースデイ神戸2020+1が直前に中止となりました。準備、練習を重ねてきましたが残念です。また楽しみにしていた子どもたちの期待にそえず申し訳ないです。

今後の展望・夢など

現在は人形劇も選択肢にいれながら、SDGsを伝える新しいコンテンツを企画中です。神戸市の西にある私たちの学校は、明石海峡大橋を望む自然豊かな環境にあります。そのような環境を生かしながら、生物多様性や環境問題等をテーマに取り上げ、これからも子どもたちにわかりやすく伝える活動を展開したいと思います。

活動団体プロフィール

- 名称 兵庫県立伊川谷高等学校 ボランティア部
- 所在地 神戸市西区伊川谷町長坂910-5
- 活動内容(令和2~3年度)
 - ・神戸市立長坂学童保育コーナーでスタッフ補助
 - ・バス停の清掃
 - ・SDGsの学習
 - ・人形劇のシナリオ、舞台、小道具の作成
 - ・地域との連携協働
 - ・難民支援のための募金活動
- 部員 3年3名 2年9名 1年1名 合計13名



兵庫県立伊川谷高等学校 ボランティア部
人形劇
おじいさんのひみつ
レタスをのこしたゆうきくんが、ゆめの中で見たものとは!?

フードロス問題から持続可能な社会のあり方を考えます。

【人形劇のタイトルとストーリー】主人公の「ゆうき」くんは夕食の際、お母さんに悪態をつきながらレタスを残す。すると夢の中で謎のおじいさんが登場、農場でレタスづくりを体験しながら生産者さんの苦勞、廃棄野菜の存在を知る。そこで意識が変わり、自覚してからレタスを食べることに挑戦する。その後父を迎えに行った駅で、規格外野菜を販売している八百屋さんの存在を知る。そのお店を仕切っていたのは、なんと夢の中のおじいさんであった……